

「社会貢献委員会」が実施する令和4年度敬老の日の「住宅防火・防災キャンペーン」にあわせた住警器等配付モデル事業について(概要)

一般社団法人全国消防機器協会
「社会貢献委員会」

1 事業内容

- (1) 住宅防火対策推進の観点から昨年度に引続き、火災等の災害時に高齢者への支援体制ができる環境が整っている高齢者等世帯(災害時要援護者のうち避難行動要支援者を含む。以下同じ。)に対する住宅用火災警報器(以下「住警器」という。)、住宅用消火器(以下「消火器」という。)及び防災品(防災毛布)の配付モデル事業を行う。
- (2) 贈呈する住警器等の総数は、住警器2,000個(煙式のもの)、消火器500本及び防災品(防災毛布)500枚とし、1団体あたり、原則として、住警器は100個、消火器は25本、防災品(防災毛布)は25枚を贈呈する。
- (3) 配付モデル事業実施地区は、社会貢献委員会が選定する地区(概ね20地区)とする。
- (4) 配付モデル事業の実施者は、一般社団法人全国消防機器協会「社会貢献委員会」とする。

2 実施方法

- (1) 当該配付モデル事業は、消防庁の協力を得て、当協会「社会貢献委員会」が行う。
- (2) 配付モデル事業実施地区については、当委員会が定める「令和4年度住警器等配付モデル事業実施要綱」に基づき審査・選定する。
- (3) 住警器等の配付及び取り付け時期
原則として、9月19日の敬老の日を中心に行われる「住宅防火・防災キャンペーン」に併せて実施(9月1日～21日)する。

3 スケジュール

令和4年3月15日 「社会貢献委員会」開催 実施計画・要綱等の決定

↓

3月下旬

消防庁予防課長宛機器協会会長名モデル事業実施に関する全国への通知の依頼

↓

4月上旬～5月下旬

配付モデル事業実施地区の公募の開始

募集期間は、4月及び5月の2ヶ月間とする予定

- ① 消防庁から各都道府県を經由し、市町村・消防本部に募集の呼びかけ
- ② 機器協会ホームページに掲載
- ③ 月刊フェスク4月号（日本消防設備安全センター発行）に掲載

※ 募集の締め切り 令和4(2022)年5月31日(火)

↓

6月中旬 応募書類の整理及び予備審査

↓

6月下旬 配付モデル事業実施地区選定委員会の開催（実施地区の審査・決定）

↓

7月上旬 配付モデル事業実施地区の決定通知。消防庁へ報告。
対象外となったところに対する通知

↓

8月中 贈呈開始（予定）

予め、配付モデル事業実施地区の申請者に次の団体又は企業から、直接連絡し、送付日時、場所等の確認、調整する。

住警器 一般社団法人 日本火災報知機工業会（傘下会員企業）

消火器 一般社団法人 日本消火器工業会（傘下会員企業）

防災品 公益財団法人 日本防災協会

↓

9月 住宅防火・防災キャンペーン（敬老の日を含む期間9月1日から21日まで）
配付モデル事業の実施 住警器、消火器及び防災品を配付・取り付け

※ 配付モデル事業が完了した場合には、その旨の連絡

9月上旬 住警器等の贈呈式及び住宅防火対策講演会
協力していただける地区(1ないし2地区)において実施